

ドクターヘリ救命救急事例

土浦協同病院 救急集中治療科

関谷 芳明

平成29年1月25日（水）
土浦協同病院新病院開院記念
第4回土浦協同病院地域医療連携懇談会

ドクターヘリとは・・・

指定病院の敷地内に待機し、出動要請により、医師と看護師が搭乗して数分以内に離陸

【メリット】

- ✓ 速やかに患者を搬送できる
- ✓ 医師と看護師をいち早く現場に送り込むことができる

地上救急にくらべて救命率は3割以上向上
完全に治って社会復帰できた人は1.5倍

旧病院

2016年3月まで、**病院敷地内にヘリポートなし**

ヘリコプター搬送の受け入れ

市営陸上競技場に着陸 → 当院までは救急車で搬送

不便
時間がかかる

ヘリコプター事案の受入が困難

新病院

2016年3月 新病院開院
ヘリポート運用開始

症例

症例 1

68歳 男性

【搬送元】
行方

【要請内容】
仕事中に胸痛を訴え、その後意識障害となったもの

経過①

- 12:20 仕事中に胸痛を訴えて倒れ込んだ。
- 12:24 目撃した同僚により救急要請。会話可能。
- 12:35 救急隊接触時、JCS Ⅲ-300、心拍数 50bpm
- 12:40 フライトドクター接触
- 12:52 離陸
- 13:20 病院着

診断：急性心筋梗塞

経過②

【病着後処置】

- 緊急力テーター検査
- 冠動脈ステント留置術施行
- 集中治療室入院

【入院後経過】

第15病日 独歩退院

症例 2

38歳 男性

【搬送元】

龍ヶ崎

【要請内容】

自動車運転中の交通事故

経過①

8:10 軽自動車運転中、交差点で衝突された

8:30 救急隊接触

8:53 フライトドクター接触

9:23 当院着

診断：出血性ショック（腹腔内出血、骨盤骨折、他）

経過②

【搬送後処置】

- ✓ 緊急開腹止血術
- ✓ 緊急力テーテル塞栓術
- ✓ 集中治療室入院

【入院後経過】

第6病日 下腿骨骨折に対して手術施行

第25病日 松葉杖歩行で退院

症例 3

53歳 男性

【搬送元】

神栖

【要請内容】

自宅で心肺停止

経過①

- 9:40頃 ウォーキングより帰宅してベッドで休憩。
2～3分後に異様ないびきののちに急に呼吸
が停止したことに家族が気付いた。
- 9:48 救急要請。
- 9:55 救急隊接触。心肺停止状態。
- 9:59 救急隊による蘇生処置で自己心拍再開。
ドクターヘリ要請。
- 10:30 フライトドクター接触。
循環は安定しているものの、反応なし。

診断：心肺停止蘇生後（原因不明）

経過②

【病着後処置】

- 体温管理療法（Target Temperature Management）
- 集中治療室入院

【入院後経過】

第2病日 体温管理療法終了

第3病日 人工呼吸器離脱

第4病日 ICU退室、食事開始

第12病日 独歩退院

約2ヶ月後 アブレーション治療、職場復帰



その他

- 多数傷病事案
- 災害
- 遠隔地への転院搬送
- 医療資源の現場投入

診療科が揃う当院では、常時、複数の診療科の協力を得ることが可能であり、常に高度な専門的医療を提供することができる。

まとめ

今後、救急医療をはじめとする多くの場面で
ドクターヘリが有用となることが想定される

その際、当院でも積極的にヘリコプター搬送を
受け入れ、茨城県さらには関東全域の救急医療に
貢献していきたいと考えている

